短編集

歴戦レンジャー提督

【注意事項】

このＰＤＦファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にＰＤＦ化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でＰＤＦファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

暇なときとかメインの方が行き詰まった時とかに書く短編集。

目次

提督「仕事辞めます！」 ―― 1

提督「仕事辞めます！」

書類の山「明日までだぞ」

提督「……辞めようかな」

提督「仕事多くてまともに寝れねぇし艦娘に会いたくて提督になったのに嫌われてるし秘書艦やってくれる瑞鶴には感謝するけど給料少ねぇし！」

提督「こんなブラックな仕事辞めてやる！」

提督「ハッハッハッハッハ！そうと決まればさっさとこんなところからはおさらばだぜぇ！」

提督「こんな日のために少ない給料を貯めに貯めたこの資金があれば少なくとも1年は普通に過ごせるぞ！」

提督「いやっほ～う！3年ぶりに家に帰れるぜぇ！ワハハハハハ!!」

提督「あ、とりあえず手紙書いとこ」
手紙「いいかげん疲れたし嫌われてるっぽいんで辞めます　ｂｙ提督」
提督「こんなもんでいっか!元帥さんにも電話かけたしええやろ!さーて帰ったらなにすっかなぁ!」

霞「クズ司令官！朝よ！起きなさいったら！」
霞「…聞こえてるの!?朝よ！」
霞「……そう！聞こえてないふりね！なら無理やり入るわよ！」ドアハカイ！
霞「クズ司令官！布団の中にいるんでしょ！さっさと起きなさいったら…」フトンメクリー
霞「…え？クズ…司令官が、いない？」
霞「なんで…？」ツクエノウエのテガミニキヅク
霞「手紙にはなんて…」
手紙「いいかげん疲れたし嫌われてるっぽいんで辞めます　ｂｙ提督」
霞「……辞めます…？」
霞「なん、で？誰も司令官のこと嫌いじゃ…ないのに…」ナミダメ
霞「……私の、せいだ…。いっつも、罵倒してばっかりで…手伝い、もしないで…」

霞「ううっ……グスッ……うえぇ……」
瑞鶴「うわっ何これ、提督さんの部屋の扉壊れてるし…!霞ちゃん?なんでこんなところに…ってかなんで泣いてるの!?」
霞「私のぜいで…っ司令官がぁ…司令官が…!」
瑞鶴「泣いてたら分かんないから!一旦落ち着いて!」

瑞鶴「えええぇぇぇぇぇっ!?提督さんが辞めたぁ!?」
霞「…うん。朝来たらいなくて机の上に手紙が置いてあって…」
瑞鶴「それ、見せて」

手紙「いいかげん疲れたし嫌われてるっぽいんで辞めます　ｂｙ提督」
瑞鶴「秘書艦してる時に相談してくれればよかったのに…」
霞「私のせいだ……」
瑞鶴「誰か一人のせいって訳じゃあないよ。真っ直ぐに好意を伝えられないで照れ隠しのためにわざわざ距離をとったり、
　無視したりするみんなが悪いんだから」
霞「……」
瑞鶴「とりあえず、もう食堂にみんな集まってるだろうし報告しに行こうか」
霞「……はい」

～食堂～
ワイワイガヤガヤ
瑞鶴「あ、赤城さん。お隣いいですか?」
赤城「どうぞ」
瑞鶴「ありがとうございます。そういえば知ってますか?」
赤城「何をですか?」
瑞鶴「提督さんが辞めたこと」
シーン…
赤城「え?…それは、本当ですか?」
瑞鶴「はい。手紙もありますし」
加賀「五航戦、その話を詳しく聞きたいのだけれど」
瑞鶴「いいですよ。簡単に言っちゃえば、みんな提督さんに素っ気ない態度を取りすぎたってことですよ」
加賀「…どういうこと?」

瑞鶴「これで分かんないなんて…。みんな提督さんを無視したり命令聞かなかったりしてたでしょ?そのせいで提督さんが嫌われたと思って辞めたの」

加賀「……」

瑞鶴「手紙は置いてくから。私はこれで」

提督「いっや~!モンハン楽し~っ!でもでかくなったクルルヤック強すぎるだろ!」

提督「このまま負けたままでいられるか!うおおおおおおおおおお!!」